

郡山女子大学附属高校生らがいちご収穫

いちごの収穫作業を体験する郡山女子大学附属高校の生徒ら



町との地域連携事業

町と郡山開成学園の地域連携事業の一環として、郡山女子大学附属高校の生徒によるいちごの収穫作業が6月15日(水)、鏡石農遊園で行われました。

町では、「鏡石いちご」のリブランディングプロジェクト（ブランド再構築）として、同校と(株)八芳園（東京都）との産学官連携に加え、生産農家の協力を得ながら町内産いちごを使用した商品を開発し、今回はその一つである「いちごバター」の本格製造に向けて、材料となるいちご約200kgの収穫を行いました。

収穫作業には、同校食物科の生徒約100人のほか、(株)八芳園の黒田達弘製菓長らも参加しました。収穫作業に先立ち遠藤栄作前町長があいさつし、鏡石農遊園の飛澤良男さん、良太さんがいちごの収穫方法について説明を行いました。

生徒らは園内に実ったいちごを一粒一粒丁寧に収穫し、採れたていちごのおいしさを味わいながら、楽しく作業を行っていました。

「花いっぱいおもてなし事業」 岩農生が花の定植作業

花の定植作業を行う岩瀬農業高校の生徒ら



「花いっぱいおもてなし事業」が6月14日(火)、鏡石駅前で行われ、岩瀬農業高校ヒューマンサービス科の生徒が花の定植作業に汗を流しました。

この事業は駅を花で彩り、来町者をお迎えしようと毎年行われており、駅西口・東口の花壇にサルビアやマリーゴールド、ペゴニアなどの苗を生徒たちが一つ一つ丁寧に植えていきました。

県民スポーツ大会岩瀬郡大会 ソフト、バレーで熱戦



▲ 壮年ソフトボールで優勝したドラゴンズ



▶ 家庭バレーボールで優勝したみなみ・マープルA

第75回県総合体育大会県民スポーツ大会岩瀬郡大会が6月4日(土)に行われ、鳥見山野球場で行われた壮年ソフトボールは「ドラゴンズ」、鳥見山体育館で行われた家庭バレーボールは「みなみ・マープルA」が優勝しました。

ソフトボールは1チーム、家庭バレーボールは2チームが8月28日(日)に行われる県中地域大会に出場します。

「一般社団法人かがみいし振興公社」設立

観光と農業を融合した新たな誘客へ

鏡石町観光協会解散総会及び一般社団法人かがみいし振興公社の第1回定時（設立）総会が6月20日(月)、町勤労青少年ホームで行われました。

町観光協会を発展的に解消した形で設立された、かがみいし振興公社では、町の観光・交流拠点となっている鏡石まちの駅「かんかんてらす」のさらなる利活用と収益性の向上を目指すとともに、ふるさと納税返礼品の調達・発送業務、耕作放棄地の利活用策として町が取り組んできた菜種とエゴマの生産振興事業である「かがみいし油田計画」を柱とし、これまで町観光協会が行ってきた各種観光関連事業を受け継ぎながら、地域振興を図っていきます。

設立総会では役員を選任が行われ、理事長に長田守弘さんが就任しました。また、季節ごとのイベント実施や、かんかんてらすとの連携事業として町の特産品のオンラインショップ販売開始などを盛り込んだ事業計画が承認されました。



かがみいし振興公社の設立総会



鏡石まちの駅「かんかんてらす」

安全安心な水を安定供給 鏡石浄水場 完成祝う

旭町浄水場の代替施設として緑町地内に完成した鏡石浄水場の落成式が6月2日(休)に行われました。

落成式には関係者約60名が出席し、代表者によるテープカット、釣瓶井戸と手押しポンプ井戸を設置した「鏡石水苑」のお披露目のほか、施設の内覧が行われました。

鏡石浄水場は今後、旭町浄水場からの切替工事などを経て、8月末ごろから通水を開始する予定です。



鏡石浄水場の完成を祝って行われたテープカット

消防団の技術向上目指し 消防署で各種訓練実施

町消防団の技術向上を目的とした基本訓練が今年度から始まり、毎月1日・15日に須賀川消防署鏡石分署で団員らが署員から技術指導を受けています。

6月15日(水)に行われた訓練には第三・第四分団の団員が参加し、町消防団で新たに導入した一度に複数のホースを運搬できるホースバッグなどの使い方について理解を深めていました。



署員から技術指導を受ける団員ら